

# 陽陽通信

Vol.11  
平成30年  
春号

子どもたちに  
確かな明日を!



山鹿をもつと  
賑やかに!

平成30年5月、国道325号線無電柱化事業第一期工区（国道3号線～熊本銀行山鹿支店間）完成記念式典にて

無電柱化（電線地中化）は「災害時の緊急輸送路確保と情報通信回線の被害軽減、景観改善やバリアフリー化」に高い有効性が認められ、国も今年度からの3か年計画で事業の本格推進を決定したところですが、従来は蒲島知事が式典祝辞の中で「無電柱化は実現が非常に難しい事業」と指摘された通り、主に工費の高さにより取り組みの遅れを招いて来ました。本事業も、私が平成20年2月最初の県議会質問の中で要望して取り組みを始めて以来、第一期工事の完成までに10年を要しました。

私にとりましてこの事業は「県議会で質問や要望をするだけでは事業の実現にはつながらない。地元・地域振興局・本庁を始め、関係の方々と誠実に地道に話し合いを進めて行く中でこそ、ゴールが見えて来る」という、今も貫く仕事に取り組む基本姿勢を学んだ意義深い仕事の一つです。

第二期工区（熊本銀行～山鹿中）も、平成30年度予算で執行される予定となっており、完成すれば山鹿のメインストリートがすっかり美しく生まれ変わると同時に、災害に強い街作りの一助になるものと期待しています。

背負い全うしてまいる覚悟で  
指導ご鞭撻を賜りますよう、  
何とぞよろしくお願ひ申し上  
げます。

世の中には我が国の将来を  
悲観する言説が満ち満ちてお  
りますが、今を生きる私たち  
は指をくわえて悲観論に浸つ  
てゐるわけにはまいりません。  
私たちには、足らざるを嘆く  
より良い未来の礎を築くため  
手足を動かし、助け合つて、  
地方にも大きな影を投げ掛け  
ております。

私は引き続き愚直に責任を  
ございますので、皆様方のご  
理解とご支援あればこそと、  
心より御礼を申し上げます。  
今我が国は、人類社会が初  
めて経験すると言われる「少  
子・高齢化・人口減少社会」  
に突入し、それに伴つて噴出  
する様々な重大課題への対応  
に地道な努力を積み重ねて行  
くほかはありません。

山鹿市民の皆様におかれま  
しては、ご健勝にてお過ごし  
のことと存じます。

ご挨拶

ご報告  
「特別支援学校」  
が出来ます！

平成30年度県予算に計上され  
た「鹿本支援学校」（仮称）新  
設に向けた基本構想策定費が承  
認され、3年後の開校を目指し  
て動き出すことになりました。  
思い返せば、障害のあるお子  
さんをお持ちの親御さん方から  
「何とか山鹿に支援学校を作つ  
てほしい」との切実なご要望を  
受けて、私が平成22年2月県議  
会で取り上げてから早や8年、  
県との下交渉や地元での調整の  
中で様々な経余曲折がありま  
したが、今は「もつと早く出来な  
かったのか」という反省の一方  
で、「ようやくここに漕ぎ着け  
た」という安堵の思いもあり、  
共にご苦労頂いて来た関係の皆  
様方と一緒に喜び合いました。  
今後はまず、支援学校に通う  
子供たちと保護者の皆さんが、  
山鹿のどこからでも通いやすい  
便利な場所を選定した上で、子  
供たちが安心して過ごせる学校  
作りを目指して準備を進めて行  
かねばなりません。また、現在  
鹿本商工高校の中に置かれてい  
る菊池支援学校高等部山鹿分教  
室の今後の方針についても、  
合わせてしっかりと検討を進めて  
行く必要があります。

皆様のご理解とご支援のほど  
よろしくお願い申し上げます。

## 2月定例県議会のご報告

（平成30年2月21日～3月16日開催）  
平成30年度一般会計当初予算を、原案  
始めとする109議案を、原案通り可決・承認・同意して閉会しました。

総定数を従来の48名から49名に  
1名増やした上で、合志市選挙  
区の定数を1増の2とする

県議会定数の変更について…

■平成30年度当初予算…  
★歳入・歳出の概要

【歳入】	(億円)		【歳出】	(億円)	
	自主財源	依存財源	義務的経費	投資的経費	
県税	1,570		人件費	1,757	46.1%
諸収入	778		扶助費	1,032	
地方消費税清算金	663		公債費	1,059	
繰入金	565		小計	3,847	
その他	159		普通建設事業費	1,360	21.0%
小計	3,735		災害復旧事業費	259	
地方交付税等	2,049		国直轄事業負担金	132	
国庫支出金	1,301		小計	1,751	
県債	972		物件費	301	32.9%
地方譲与税等	281		その他	2,439	
小計	4,603		小計	2,740	
合計	8,338		合計	8,338	100%

今回の改正に当っては、定数1の合志市の人団が、定数2の山鹿市・荒尾市・球磨郡の人口を上回る逆転現象が起きている現状の是正が焦点となりました。平成25年からの県議会選挙区等検討委員会における議論の過程で、検討委員会は、一般的の方々との合志市選挙区の県議会定数改訂案が2月定例県議会で可決され、条例改正を経て、次期県議選から適用されることがありました。

今回の改正に当っては、定数1の合志市選挙区の県議会定数改訂案が2月定例県議会で可決され、条例改正を経て、次期県議選から適用されることがありました。

県議会定数の変更について…

平成30年度、私は、議院運営委員会副委員長、国際スポーツ大会推進特別委員会委員長並びに農林水産常任委員会委員に選任されました。委員長職は3年連続、特別委員長は初めての就任となります。

議院運営委員会は、一般の方々にはじみの薄い存在かと存じますが、県議会の円滑で効率的な運営を図るために、会期や開会日程、質疑時間、議案の取り扱いなど全般について協議・調整を図ったり、議案・陳情等の審査を行う、県議会の縁の下の力を持った存在です。

国際スポーツ大会推進特別委員会につきましては、来年山鹿市を始め県内各地で開催される2019女子ハンドボール世界選手権大会並びに2019女子ビーチワールドカップが開催されるラグビーワールドカップ2019の成功に向け、県と力を合わせてバックアップに努めてまいります。また、両大会を機に、国内外とりわけ海外からの観戦・観光客が多数熊本を訪れることが予想されます。そこで、その貴重な機会をとらえて、熊本の良さを大いにアピールし、熊本観光業の飛躍を図るチャンスにしたいと考えております。

前記役職に加えまして、5月より全国16のみかん生産県の県議会議員で組織する全国みかん生産県議員対策協議会の事務局長を仰せつかりました。身に余る大役ではございませんが、全国4位のみかん生産県熊本県議を補佐しつつかりと役目を果たす覚悟でございます。

平成30年度、私は、議院運営委員会副委員長、国際スポーツ大会推進特別委員会委員長並びに農林水産常任委員会委員に選任されました。委員長職は3年連続、特別委員長は初めての就任となります。

渕上陽一 1965年(昭和40年)山鹿市生まれ 53歳

【所属議員連盟・役職】	
副委員長	熊本県議会果樹農業振興議員連盟
委員長	熊本県議会たばこ議員連盟
委員長	熊本県議会自民党酪政会
委員長	熊本県森林・林業活性化委員会
委員長	促進議員連盟
委員長	森林・林業活性化促進議員連盟
委員長	九州連絡会議
委員長	熊本県議会保育議員連盟
委員長	熊本県議会私立幼稚園・中学校・高等学校振興議員連盟
委員長	熊本県議会文化懇話会
委員長	熊本県議会郵政懇話会
委員長	日韓友好熊本県議会議員連盟
委員長	国営筑城歴史公園設置促進議員連盟
副委員長	全国みかん生産県議会議員対策協議会事務局長(5月1日就任予定)

渕上陽一ホームページを  
リニューアルしました

<http://www.fuchigamiyoichi.info/>



